

渦電流式膜厚計 ダーメス DS-110



■ 特長

- 測定値の表示がデジタル式、読み取り容易。
- 水晶発振方式により高安定(±1%)、高精度。
- スイッチを入れると同時に測定ができます。
- 非破壊ですので全数検査ができます。
- 直読式で換算の必要がありません。
- 測定時間が短い。(1秒以内)
- 金属上の皮膜、めっき、塗装、樹脂等の測定ができます。
(例 アルミ上の酸化膜、鉄上の亜鉛等のめっき、塗装)
- リモートスイッチによるデータの読み込み可能。
- 1本の検量線で1000データが保存可能。
- 非金属上の金属皮膜(例、プラスチック上のめっき)の測定ができます。
- スイッチを切り替えることで、4種類までの膜厚測定ができます。
- メーカーで検量線を入れ替えることで、70種類以上の膜厚測定ができます。
- 曲面、球面体でも測定可能。
- パイプ等の内面も測定可能(φ12.7mm以上)
- 素材の違いの判定ができます。
- 測定データと統計処理値をプリントアウトできます。



株式会社 電 測

DENSOKU INSTRUMENTS CO.,LTD.

ダーメス DS-110

測定原理

高周波電流を流したプローブ(測定子コイル)を金属に接近させると、金属表層部に渦電流が生じます。

この渦電流は、高周波磁界の強さ、周波数、その金属の導電性、厚さ、形状等により影響を受けます。また渦電流は、プローブの高周波磁界を打ち消すように流れますので、プローブの高周波抵抗が変化します。この高周波抵抗値の変化分を増幅し、カーブ補正を行って、デジタル値で表示します。このため膜厚値を直接数字で読み取ることができます。

カーブ補正はマイクロコンピュータによる計算で行っています。このため高精度で、高安定です。



仕様

■ 本体仕様

1. 寸法: 330×180×90mm
2. 重量: 3.4kg
3. 電源: ACアダプタ使用にてAC100V~240V

■ プローブ仕様

1. プローブ有効範囲 : φ5mm
極細プローブ使用時: φ3mm
2. プローブのコード長さ: 900mm
3. ガイドの種類により曲面上の測定可能
4. プローブの種類
MP型……平凸凹曲面用(標準)
MPG型…平凸凹曲面用(ガイド付き)
SM型……平凸凹曲面用(極細)
RP型……凹曲面、パイプ内面用
SR型……小径パイプ内面用
上記プローブには測定する膜厚により各々A、B、C、Dの4種類があります。

● 測定物との組み合わせ例

皮膜	下地	測定範囲(μm)	プローブ
非金属 (アルマイト・塗料等)	非磁性金属 (アルミニウム・銅等)	1~100	D
		50~300	C
銅又は銀	鉄	0.5~5.0	D
		3~10	C
		5~20	B
		10~160	A
	非金属 (ABS・エポキシ等)	0.5~5.0	D
		3~10	C
		10~80	B
		50~160	A
亜鉛	鉄	1~14	D
		8~30	C
		15~50	B
		30~100	A
ニッケル	鉄	1~12	C
		6~22	B
	非金属	18~80	A
		1~12	D
金属蒸着 (金、銅、アルミニウム等)	非金属	5~25	C
		50Å~1μm	D
		1~5	D

☆注 上記の皮膜の種類及び厚みの範囲は測定されている代表的なものです。このほかたくさん組み合わせができます。

(注)仕様は予告なく変更されることがあります。

株式会社 電 測

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目31番5号
TEL. (03) 3365-4411 FAX. (03) 3371-1287

DENSOKU INSTRUMENTS CO.,LTD.

2-31-5 Chuo, Nakanoku, Tokyo, Japan
URL <http://www.densoku.com>
E-mail eigyodensoku.com

代理店